

《学校だより》 ～「朝食・家庭学習・読書」の習慣を育てましょう～



さくら

桜小HP



令和5年度
2月29日
第12号
小樽市立桜小学校

《重点教育目標》おだやかさを土台とした、ひとりだちする子の育成～自律の力を育む～

地域みんなで子どもを育てる！

学校長 水口正紀

早いもので2月も終わりを迎えようとしています。すでに立春は過ぎ、3月5日は『啓蟄（けいちつ）』を迎えます。「啓蟄」とは「春を感じて、冬ごもりをしていた虫が外に這い出てくる頃のこと」と言われており、歴の上では「春の近いこと」を示しています。ここ最近、暖かい日が続くと厳しい寒さがやってくる、いわゆる「三寒四温」という言葉がぴったりの天気が続いています。暖かくなったり寒くなったり、体調にはくれぐれも留意をお願いします。

さて、学校では1月から実施してきた各学年のスキー学習がすべて終了しました。今年は、悪天候により延期した学年もありましたが、全体的には好天に恵まれた日が多く、太陽の光を浴びた気持ちのいいスキー学習となりました。また、大きなけがなく終わったことにほっとしております。冬のスポーツは一步間違うと大けがにつながります。安全面への配慮のための指導者の確保は、どの学校でも頭を悩ませているところです。桜小では、今年度小樽市学校ボランティア2名、桜町中学校1名、保護者ボランティア27名（延べ人数では48名）の応援をいただき、安全で効率的な指導をすることができました。特に、保護者ボランティアの多数の応援が何よりも心強く、大変助けられました。ご協力いただきました多くの皆様に、心から感謝申し上げます。

スキー学習以外でも、学校は地域・保護者のたくさんのボランティアに支えられて教育活動を行っています。いくつか紹介させていただきます。

交通安全のために、見守り活動を行っていただいている、杜のつどい・安全協会やふれあいサポーターの皆様。毎朝の「おはようございます。」の挨拶は、子どもたちの元気の源になっています。プール学習では、プールサイドからの見守りなど保護者の皆様から多数応援をいただきました。夏・冬休みの学習会には、樽っ子サポーターとして、小樽の高校生も応援に来てくれました。トラック協会による安全教室、小樽警察署による情報モラル教室、6年生のガラス制作体験など、桜小の教育活動で地域の皆様にご協力いただき実施した活動は、今年一年間で実に30にも及んでいます。また、ハロウィンパーティーや桜小雪あかりの路など楽しい企画を実施してくれたPTA活動など、桜小学校は本当に多くの地域や保護者の方々に支えられていると感じています。保護者、地域の皆様には、この場をお借りして改めてお礼申し上げます。

さらに一歩進め、地域一体となって子どもたちを育む仕組み、「桜小中コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）」が、令和6年度から始まります。変化が激しく、先の予想がつかない時代が続きます。そんな時代だからこそ、地域みんなで子どもを育てることがより一層大切になってくるのだと感じています。

いよいよ3月の扉が開き始め、全校のリーダーであった6年生が巣立つ日が近づいてきました。6年生の子どもたち、保護者の皆様の心に残る卒業式となるように、全校児童みんなで飾り付けなどの準備を進めているところです。最後の残り1ヶ月、6年生との思い出を振り返りながら、「ありがとう！」の気持ちをもって過ごしていきたいと思ひます。



桜小雪あかりの路

14日(水)にPTAによる「桜小雪あかりの路」を行いました。80名を超える子どもたちと保護者の参加がありました。1時間弱でしたが、思い思いの作品を作り、ろうそくに火をともし幻想的な感じとなりました。

PTA活動は、保護者、教員が協力して、今後も子どもたちが楽しめるような活動を実施していきます。



ドキドキの新入学児童体験入学

16日(金)に体験入学・保護者説明会を実施しました。50名を超える入学予定児童が参加しました。視聴覚室で保護者へ説明をしている間、新入学予定の児童は、教室に移動して折り紙を折ったり、塗り絵をしたりしました。最初は緊張気味でしたが、楽しく過ごすことができたようです。先生方の言うことをしっかりと聞いてとても頼もしく、4月の入学式が楽しみです。

スキー学習全学年無事終了

今年度のスキー学習は、例年通り1、2年生はグラウンドで行い、3年生以上は朝里川温泉スキー場で行いました。子どもたちは、滑ることはもちろんのこと準備や片付けも回数を重ねるごとにどんどん上達していきました。今年度学校で実施するスキー学習は、すべて終了しました。天候や積雪状況に左右されることはありましたが、大きな事故もなく終わることができました。



ボランティアとして登録していただいた保護者の皆様には、お手伝いいただき、大変ありがとうございました。来年度も子どもたちのためにぜひお手伝いをお願いいたします。

令和5年度全国体力・運動能力調査結果について

5年生を対象に6月に実施した全国体力・運動能力調査の結果が届きました。学校と家庭が互いの役割を認識しながら、子どもたちの体力向上につなげることが必要であると考え、本校の全国体力・運動能力、運動能力、運動習慣等調査結果を皆様にお知らせいたします。

【実技に関する調査】

	桜小男子	桜小女子
握力(筋力)	全国を上回っている	全国を上回っている
上体起こし(筋持久力)	全国を上回っている	全国を上回っている
長座体前屈(柔軟性)	全国を上回っている	全国をやや上回っている
反復横跳び(調整力、敏捷性)	全国を上回っている	全国を上回っている
20mシャトルラン(持久力)	全国を上回っている	全国を上回っている
50m走(走力)	全国を下回っている	全国を下回っている
立ち幅跳び(跳躍力)	全国をやや上回っている	全国を下回っている
ソフトボール投げ(投力)	全国を上回っている	全国をやや上回っている
合計点	全国を上回っている	全国を上回っている

【質問紙調査】

- ・「運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツをすることは好きですか」という質問に対して「好き」という回答した割合は男女ともに全国より高いが、あまり好きではないという否定的な回答も一定数いる。
- ・朝食を「毎日食べる」と回答した割合は男子、女子ともに全国より低い。

学校としては、これらの傾向をもとに体を動かすことが好きな児童が増えるよう教育活動を進めてまいります。別紙で配付いたしました小樽市教育委員会発行の「健やかな体をはぐくむために」も参考にご家庭におかれましてはこの機会にお子さんの体力や運動習慣について話し合ってみてください。